

平成30年度当初予算財務部長内示結果の考え方

1 概要

- ・みらい戦略会議での当初合意内容に沿った編成方針を厳守。
- ・主に、行財政改革及び補正予算の事項を柔軟に活用し編成。
- ・未計上額の確保により、当面の編成を実施。

2 政策面から

- ・行財政改革の視点として以下の9項目を設定。
- ・それぞれの項目に関連する各事業について、当初での全額計上・一部計上・未計上を設定。
- ・直ちに事業を休止できないものや事業の重層化等の検討が必要なものなど、行財政改革により施策・事業の根本的な見直しを行うものについては一部計上、それ以外のものについては計上を行わないこととする。
- ・一部計上については、6か月相当として総額の5割を計上。
- ・未計上の事業については、各部局の判断が必要。

【行財政改革の視点】

- ①相乗効果の高い生涯学習の展開
- ②各業が連携した一体的な業振興の推進
- ③業務の内製化による職員能力の向上
- ④地域活動に柔軟・迅速に対応できる財政支援
- ⑤情報発信力を強化した広報の実施
- ⑥公民の役割分担による民間活力の向上
- ⑦地域福祉の効果的な推進
- ⑧長期的に対応可能な維持管理の実施
- ⑨その他